

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【東雲小学校】

<第4学年：ようこそ！東雲ガイド活動>



1 子どもの意識の流れと活動の概要

(1) 学習のテーマを決めよう (5月)

- ・3年生のときには、ロープウェイ街を探検したね。松山城にはたくさん観光客の方が来られていたね。松山城には、どんな魅力があるのかな。
- ・松山城のことを調べて、ぼくたちも先輩たちのように、ガイド活動がしたいね。

テーマ：「ぼくたち東雲ガイドキッズ！」

(2) 探究活動[調べ学習、ボランティアガイドの講話、松山城探検] (6月、7月)

- ・松山城についてホームページで調べたよ。石垣はどうやって積み重ねたのかな。
- ・ボランティアガイドの先生は、もう20年以上もガイドをされているんだね。観光客の方が喜んでくださるのがうれしいとおっしゃっていたね。実際にガイドの様子を見たいね。

(3) ボランティアガイドによるガイドの様子を見学 (9月)

- ・ガイドの先生は、笑顔でご案内していたな。観光客の方に地域について話したり松山の名所について紹介したりして、相手が喜ぶ工夫がいっぱいだったよ。
- ・天守にも初めて入ったよ。松山市の景色が美しかったね。そのことも観光客の方にご案内したいな。



【ガイド活動の見学】

(4) ガイド活動リハーサル (10/29) → (5) ガイド活動本番 (11/19)

- ・とても緊張したけれど、観光客の方が笑顔で聞いてくださって、とてもうれしかった。
- ・友達や保護者の方がそばにいてくれたから勇気が出たよ。
- ・外国の方には、英語のカードを渡したよ。英語で挨拶したら伝わったよ。カードを読んで、松山城のことを知ってくれるといいね。
- ・「いい所だね。」「また来るよ。」と言ってくれたよ。松山市はすてきな場所だね。

2 成果

子どもたちの思いを大切にしながら単元を構想し、ボランティアガイドや保護者、観光客など、人との関わりを重視した活動を実施したことで、主体的な学びにつながった。また、校区の文化財について調べ、実際に案内する活動を通して、子どもたちは、自分のふるさとのよさに気付き、愛着を感じるとともに、地域の一員としてこれからも大切にしていきたいという気持ちを持つことができた。さらに、今年度は、日本人観光客に加え、アメリカ合衆国や韓国、中国、台湾など外国人観光客への簡単なガイドにも挑戦した。言語や文化が違う人々と心を通い合わせた経験は、グローバル化が進む社会に生きる子どもたちにとって、豊かな人間関係を築く上での大切な素地となった。



【ガイドの様子】